

2016 11/8

No.2030

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



国内最大級を誇るハロウィーンイベント「カワサキハロウィン2016」が10月30日、川崎市川崎区の川崎駅東口周辺で行われ、約2600人の参加者が思い思いの仮装で約1.5kmのコースを練り歩いた。



視点・点描	3
ラゾーナの成功の次に	
講演録	4
現代日本政治と政局のゆくえ	
日本大学法学部教授 岩井 奉信	
政治	8
象徴天皇制の国民的議論を 有識者会議に求められる課題	
政治	10
「解散権」はだれのもの？ 英、ドイツは「制限」が潮流	
国際	12
中国経済、成長か減速か 技術革新力が鍵握る	
企業最前線	14
「空き家」向けサービス続々 ローンや耐震改修で家賃保証	
暮らし2016	16
口内炎、軽く見ないで	
広告珍談	18
広告はたのしい②⑦ 即席とは？	
NNAアジア経済レポート	19

事務局だより

◇12月定例講演会

シンポジウム・交流会

2016年12月8日(木)

横浜ベイシェラトンホテル&
タワーズ

▽講演会

午前11時～午後0時半、4階
「清流Ⅱ」

講師は共同通信社政治部長・
小淵敏郎氏、同経済部長・東
隆行氏、同外信部長・沢井俊
光氏、神奈川新聞社取締役論
説主幹・林義亮氏

演題は「2017年の動向を読む」

▽交流会

午後0時40分～2時、4階「清流Ⅰ」

視点 点描



ラゾーナの成功の次に

30年ぶりに川崎に赴任して驚いたのは、川崎駅の東西自由通路の人の混雑と若者の多さだった。人の流れを一変させたのが、10年前の西口のショッピングセンター「ラゾーナ川崎プラザ」のオープンだった。

日本有数の売り上げを誇るショッピングセンターで、さらに驚かされたのはリーマンショック

後の2010年度を除き、ほぼ10年間、売上高は右肩上がりという好調ぶり。しかも川崎では「成り立たない」といわれたファッション関係が売り上げの中心という。古くは小美屋、西武百貨店、そしてさいか屋と百貨店が次々と閉店した。その川崎で、だ。開業当初の売上高の目標は350億円だったが、実質的な初年度の07年

度で637億円と大幅に上回った。初代同プラザ所長の浅村浩光さんは「連日駅からは正月の初詣のようにお客さまが流れた」と回想。「子どもが2、3日帰ってこない」と深夜スタッフの家族から連絡を受け、探しに行くと食品店のカウンター裏で熟睡していたという繁忙ぶり。

成功の理由は、まずはルーファ広場。「通常、駅に一番近いところを売り場とするのが常識の中、『川崎には待ち合わせをする場所がない』との声を受けて（直径約60mの広場設置を）決断した」と当時の同プラザ企画・開発担当の安達寛さん。人気アイドルなどのライブイベントが開催され、若者が広場を埋め尽くす光景は珍しくない。「デパ地下」型食物販エリアもいち早く設置し成功させた。12年、15年の2度のリニューアルで売り上げを伸ばし、15年度は

788億円（ビックカメラの売り上げは含まれず）を記録。「東京や横浜へ流出していた消費者を引きとどめ、逆に神奈川区や港北区、品川区などにも商圏を広げた」と三井不動産。ラゾーナ周辺でマンション建設が相次ぎ、幸区の人口増加や地価の上昇、JR川崎駅の乗降客数増加は「ラゾーナ効果」と胸を張る。

一方、さいか屋閉店に象徴される東口の活性化はこれから。同跡地の再開発計画はまだ明らかになつておらず、関係者は気をまんではいる。20年の東京オリンピックに向けて大型開発が進む都内などとの「都市間競争」も激化が予想される。同跡地の利用だけではなく、川崎駅周辺が東西一体となつて魅力をつくれるような施策が待たれている。

（神奈川新聞社川崎総局長

瀧村 誠）

即席とは？

図をどうぞ。イラストはテムズ河にかかる「タワー・ブリッジ」。ロンドンのモニュメントである。いましも通過する蒸気船のため、橋板がはね上がった。

「ロンドン土産 即席カレー」とある。ロンドン土産は別として、「衛生試験所試験済」「登録商標 大橋印」「専売特許出願済」について。

衛生試験所は、都道府県と政令指定都市に置かれて、食料品や飲料水、医薬品や医療用品、家庭用品などの衛生学的な検査をする施設。

商標とは、営業する者がじぶんの商品やサービスを示す標識。トレード・マークのこと。登録商標は、法律にもとづいて、特許庁に登録の手続きをへた商標のこと。グラフィック・デザイナーである

ボクは、いくつかの商標やマークをデザインしたが、こんな面倒な手続きがあるとは知らなかった。先方の担当者は、たいへんだったろうな。

専売特許とは特許の旧称。特許とは新しく有益な発明について、

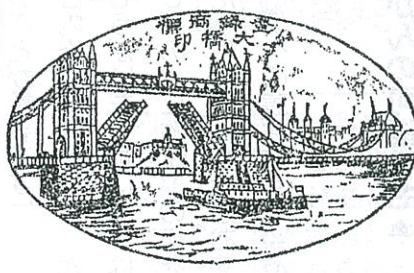
衛生試験所試験済

大橋印

ロンドン土産 即席カレー

専売特許六三三出願済

衛生によく美味 たくさん 湯で煮れば すぐできる 製造元大橋 販賣店至る所の有名 店にあり



法律にもとづいて独占権を受けること。パテントである。特許法という法律は1959（昭和34）年に公布された。この広告は12（大正元）年の掲出。現行の特許法ではなかった。

専売とはほかの人には売らせず、じぶんだけが売ること。たばこや塩、アルコールは国家の専売品であったが、たばこは85（昭和60）年、塩は97（平成9）年、アルコールは2001（平成13）年に廃止。現在は民営化され、たばこは「日本たばこ産業」で生産・販売している。

さて、即席というとなんとなく、目線を下向きにする。だけど奥のほうで調理して、しずしずと運ばれてくる会席料理よりも、目の前で包丁さばきよろしく、すばっと出される板前のほうがずつとすばらしい。そ

れを即席料理といっていいいのかどうか、知らないけれど。

即席カレーの広告。幼い子どもからお年寄りまで、カレーほど親しまれる食べ物はないので、はなにか。もともと黄褐色で辛味の強いカレー粉でつくられる Curry。語源はインドのタミール語で、「スープの具」の意味とか。アニス・ウコン・エコンドロ・コショウ・ナツメグ・ニッケイ・カルダモン・ショウガ・トウガラシ・カラシ・オールスパイス・チョウジンなど、たくさんの香辛料を配合する。もとはインドが主産地であった。

インド料理は100種類を越えるほどの香辛料を、さまざまに組み合わせるという。インドも南へ下がるほど、辛味がつよくなるそう。

（美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住）
（図）「ロンドン土産 即席カレー」の広告。1912（大正元）年掲出